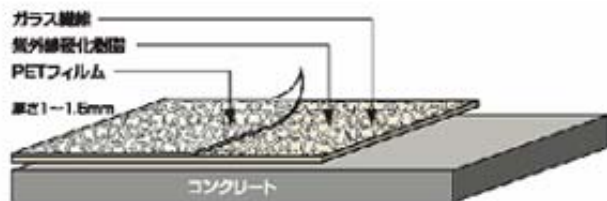


パーマコート工法 (コンクリートの面的補修工法)

【工法概要】

紫外線硬化型のFRPシートをコンクリートの表面に貼付して、コンクリート構造物を面的に補修・補強を行う工法です。

従来工法の繊維シート接着工に比べて、短工期・低コストでコンクリートを補修することができます。



項目		仕様・物性
樹脂の種類		エポキシアクリレート
補強繊維		Eガラス
繊維量		450g/m ²
厚さ		1~1.5mm
引張強度	JIS K 7064	1000N/mm ²
引張伸び率		6.2×10 ⁻³ (%)

【特長】

- ◆紫外線により硬化させるので、養生期間が不要で短時間での施工が可能です。
- ◆加工が容易で、構造物に応じて施工できます。
- ◆劣化の進行を抑制し、はく落を防止することができます。
- ◆劣化の進行に合わせて追加して補修したり、状況に応じた補修方法が可能です。
- ◆シートは薄いので、トンネル内面等に施工しても、車両の通行を妨げません。
- ◆透明なので、補修後も劣化の進展を確認することが可能です。
- ◆走行式コンクリート点検システムから得られた診断結果をもとに、適切な補修を行います。

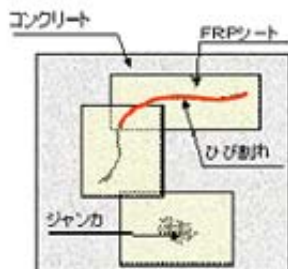
スピーディな施工

合理的

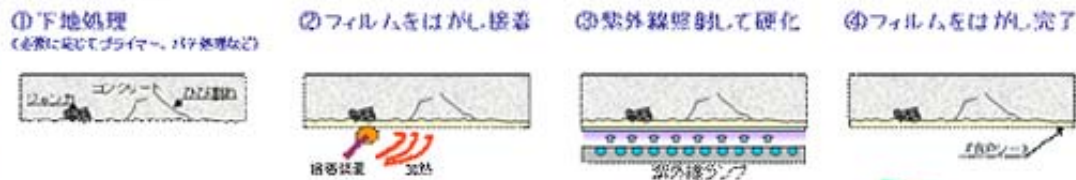
ライフサイクルのサポート

【適用例】

- ◆トンネル覆工コンクリートのはく落防止
- ◆コンクリート構造物の中酸化、アルカリ骨材反応の抑制
- ◆コンクリートのひび割れ・ジャンカの応急処置
- ◆橋梁のコンクリート床版のはく落防止
- ◆橋梁の高欄の補修



【施工方法】



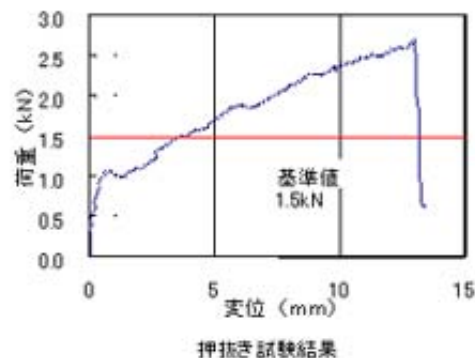
コンクリートの表面の状態を確認し、下地処理工法を選定します。必要に応じて、プライマー塗布、パテ処理を行います。

紫外線を照射することにより、樹脂が硬化し、コンクリートに接着します。

【補修工法の性能】

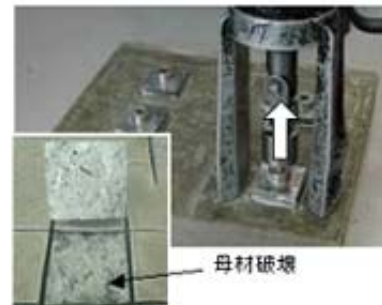
◆はく落防止

日本道路公団規格のはく落防止の押抜き試験方法に準拠して試験を実施した結果、規準値の1.5kN以上の値となります。



◆付着強度

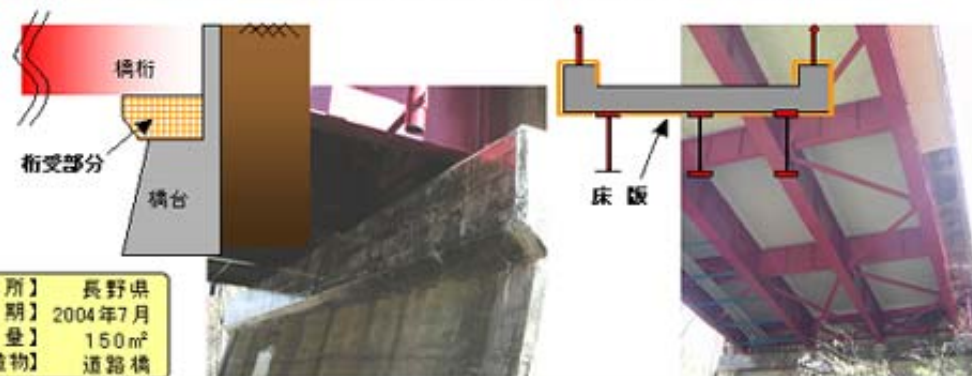
建研式接着力試験機による試験で1.5N/mm²以上を確保でき、コンクリートの母材で破壊し、界面で剥離することはありません。



付着強度試験

【実施例】

凍結融解などによる劣化の進行抑制を目的として、橋梁の補修工事に本工法を適用しました。



【施工場所】	長野県
【施工時期】	2004年7月
【施工数量】	150m ²
【対象構造物】	道路橋